

令和5年度 宮城県東部地方振興事務所の主要観光施策について

○観光と食の魅力発信支援事業

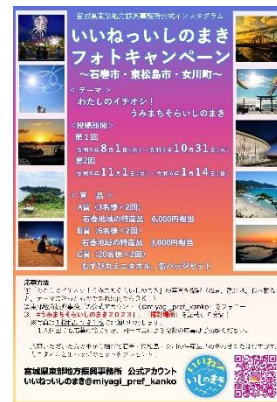
◇各種イベントに合わせた観光PR

管内の観光関係団体等と連携・協力し、県外において石巻地域の物産と観光展を開催、ツール・ド・東北、大型客船来港、宮城オルレ奥松島コース関連イベントなどに合わせて観光と食のPRを実施



◇情報集約・発信

管内の観光や食、イベント等に関する情報を集約し、ホームページや公式SNS「いいねっしのまき」等での発信、SNSのフォロー拡大を目的としたフォトキャンペーンを実施



○インバウンド受入態勢強化推進事業

◇外国人観光客案内ガイド向け研修(10月1日)

対象：外国人観光客案内ガイドとしての活動希望者
内容：実際の案内を想定したフィールドワークなど

◇観光事業関係者向け研修(11月14日)

対象：飲食店や観光関連事業者
内容：主に台湾を想定した外国人観光客への対応

○観光資源発掘事業

◇みちのく潮風トレイルを活用したツアー

(石巻エリアスルーハイク) 実施
(11/23~26)

◇寿司・海鮮体験を活かしたモニターツアー

実施(2/3~4)



○令和6年度事業の方向性

①石巻圏域での大きな動きとの連携による誘客

- ・サン・ファン館のリニューアルオープン(令和6年秋頃)
- ・東松島市道の駅の開業(令和6年11月頃)
- ・出島架橋の開通(令和6年12月頃)

②石巻港寄港大型客船乗船客等の富裕層向け事業による誘客

③県外との連携による誘客

福島県国見町、米沢市から圏域への誘客を市町と連携して行う

④県内地方振興事務所との連携による誘客

猫による地域振興を行っている丸森町(大河原圏域)などとの交流を想定

⑤出島架橋開通効果による誘客

地元住民感情に配慮しつつ、女川町と連携した観光振興を図る

⑥みちのく潮風トレイルを活かした誘客

国内だけでなくトレッキング文化が根付く海外からの誘客を想定